



岡山レスキューサポート・バイクネットワーク

## 森田 靖 さん

### 森田さんの体験 1

#### ボランティアを始めたきっかけは？

阪神大震災の時、何か役にたちたいと思いながら救援物資を送ったり、献血に行ったりなどの支援しかできず、現地に行く手段も連絡先もわからないまま、その思いをずーっとひきずっていました。ある日ネットにて偶然RBのホームページを見て、バイクを使ったボランティアが存在することを知り、迷わず登録してしまいました。

一年ほどたった、2000年の春に岡山にもRBを結成したらどうか？との打診があり、広島RBの支援を受けてその年の秋に結成することになりました。

最初はバイクを使ったボランティアなら自分の趣味が活かせると思って軽い気持ちで登録したのですが たまたま最初集まったメンバーで自分が一番年上だったため、代表を受けることになり、現在に至っています。

#### RBって何ですか？

RB(レスキューサポート・バイクネットワーク)は阪神大震災の時、バイクが活躍したことから始められたもので、全国に30の団体が生まれています。

それぞれのRBを緩やかにつなぐ形でJRBというネットワークのみ存在しています。

たとえば災害が起こった地域のRBは自分たちが被災してしまい、人員や資材の確保が十分にできないとか情報を伝達する手段が崩壊してしまったり、という可能性がありますので、近隣のRBが支援にはいり遠方のRBは後方から援助します。

この夏の玉野市の高潮被害では広島RBが来てくれました。千葉のRBより活動資金をもらっています。また、愛媛県の新居浜市と西条市に支援に行っています。もちろんそれも強制や命令ではなく、自主的に支援を行いあっているのです。



**パレットメモ**

- 岡山RBでは ともに活動していただける仲間を募集しています。
- バイクの大小・有無は問いません。災害時は様々な支援の形があります。詳しくは岡山RBのホームページをご覧ください。
- <http://www.urban.ne.jp/home/ymorita/ORB>



### 森田さんの体験 2

#### どんな活動をしているのですか？

災害が起こると各地のRBのHPで情報を交換します。活動が必要で自分たちが可能な状況ならその地域にはいり、その復旧のお手伝いをします。現地の情報が寸断され、道路も自動車が通行できない状態になっていて、被災者が孤立していたり、物資の運搬が必要な場合、バイクが有用とあればバイクを使用します。また、最近の大規模な災害では災害ボランティアセンターが開設されるのでそこに登録して今までの災害出動の経験を活かした活動のお手伝いをします。

一般のボランティアと同様にスコップが有用とあれば、バイクを降りてスコップを持ちます。またネットの力を利用して情報発信したり記録をとり次につなげる活動もします。もちろんすべての活動は無償で行いますし、できるものができるときにできることをするという原点にたって活動しています。



#### あなたにとってボランティアって何ですか？

私にとってボランティアとは、人間の基本に似ていると思います。地球に住むかぎり災害とは無縁ではられません。自分が生きるため＝みんなが生きてするために通常の生活を引き裂かれた被災者の援助をしていこうと考えています。普段、ふつうに生活できるのはみなさんが様々な形で社会に貢献してくれているおかげなのですからその恩返しを災害時にするのは当然の行為ですし、自分自身もボランティア活動を行い、人のために自分が役にたったのだという大きな喜びを実感することができます。人助けにしているつもりが逆に、現場でおおきなエネルギーをもらってかえっているのです。

訂正とお詫び  
先月号vol.4のp.1上の団体名が『岡山県保育連絡協議会』となっておりますが、正しくは『岡山県学童保育連絡協議会』です。岡山県学童保育連絡協議会の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

## Part 5

体験談

募集

講座・イベント

お役立ち情報

